

1972.1.12

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 27

福岡市大字箱崎
九州大学大型計算機センター
共同利用掛 (TEL 092-64-1101)
内線 5337

目 次

共用ボリュームの新規登録について	1
TSS用ジョブ制御マクロの変更について	1
CARDCOPYプログラムのレベルアップについて	3

◇ 共用ボリュームの新規登録について

昭和47年1月11日よりバッチモナ(E060)とおなじレベルに改良された新しいTSSモナ(E061T)が動くようになります。これによつて、バッチ、TSSモナのファイルのアクセスの仕様が同一になりますので、いままでTSS専用に使われていたE.042をE.040と同様に利用者に開放し、TSS、バッチの区別なく使用できるようにいたします。しばらく中止しておりました共用ボリュームの新規登録を再開いたしますので、登録を希望される方は受付まで申し出てください。なお受付開始月日、認可トラック数は次のとおりです。

受付開始月日 昭和47年1月17日(月)

認可トラック数 1課題につき40トラック以内

希望者の多い場合には締めきることがありますのでご了承ください。

また、この変更にもない、1月21日(金)からは、TSSでE.042を使用するときには、登録されたファイルのみ使用できることとなりますので、現在TSS利用者で保存していたファイルをお持ちの方はその旨受付に1月14日(金)までに申し出てください。1課題につき40トラック以内の制限で新規登録として受けつけます。

◇ TSS用ジョブ制御マクロの変更について

TSSモナのレベルアップにもない、TSS用ジョブ制御マクロのうち、¥COPYFILE、¥DELFILE、¥GETFILEが1月21日(金)からなくなります。

共用ボリュームのE.042を使用するときには、装置機番(UNIT=E.042)、ボリューム通

番 (VOLNO=E00042) を必ず指定してください。

例

‡CATALOG FILENAME=QU.EB.YAMADA.00150, / 72欄
UNIT=E.042, VOLNO=E00042

⋮

◇ CARDCOPY プログラムのレベルアップについて

1. レベルアップ事項

- (1) カード識別欄の識別名およびシーケンスが追加あるいは修正できる
- (2) // // の後のスペースを 2 個以上あけても良いようにしました。

2. コントロールカードの説明

// // [m] [, n] [, ID = ' abc [, i] [, j] ']

- (1) m = LP 部数、n = CP 部数、i = シーケンスの初期値、j = シーケンスのきざみ、abc = 識別名 (3 文字以内)
- (2) [] 中は省略可を示します。
- (3) ID = ' [] ' は 73 ~ 80 欄の識別名およびシーケンスを指示します。

3. 注意事項

- (1) m, n がともに省略かゼロの時は LP のみ 1 部となります。

例 // // [] (71 欄までブランクの時) …………… LP 1 部

- (2) i, j は共に省略すると、どちらも 10 となります。

例 // // [0, 2, ID = ' ABC '] …………… CP 2 部、カード識別名が ABC で初期値およびきざみは 10

4. ジョブ依頼例

\$NO

\$QJOB

\$CARDCOPY

// // [1, 2, ID = ' ABC, 10, 10 ']

データ 1

// // [2

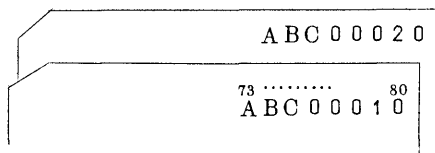
データ 2

\$*

\$SYSPCH

\$JEND

結果



パンチ出力がある時これらのカードを入れてください。

T S S 実験参加者へのお知らせ

T S S のデマンドジョブのジョブ制御マクロは次のようになり
ましたのでお知らせいたします。

1. ¥BACCUS

マクロ名	パラメータ
¥BACCUS	空

⑨ ファイル使用なし

2. ¥QBACCUS

マクロ名	パラメータ
¥QBACCUS	SCFILENAME=ソースファイル名 (, SVFILENAME=SAVEファイル名) (, LIBRARY=USE) (, { SCUNIT } =装置機番) (, { SCVOLNO } =ボリューム通番) (, { SVUNIT } =装置機番) (, { SVVOLNO } =ボリューム通番)

⑨ 装置機番、ボリューム通番の指定を省略すると、それぞれ
E. 040, E00040 になります。

3. ¥COPYFILE

マクロ名	パラメータ
¥COPYFILE	NEWFILENAME=新ファイル名, OLDFILENAME=旧ファイル名 (, FILETYPE=ファイル種別) (, UNIT=装置機番) (, VOLNO=ボリューム通番)

- ⑨ ・新ファイルは E. 043 にとられる。
- ・装置機番、ボリューム通番の指定は OLDFILE に関するもの。
 - ・ファイル種別で順編成ファイルの場合 P S とする。省略のとき
分割型順編成ファイルになります。

4 ¥GETFILE

マクロ名	パラメータ
¥GETFILE	FILENAME=ファイル名 (, TRACK=n) (, FILETYPE= ファイル種別)

④注・ TRACKの指定を省略すると、40トラックの領域がとられます。

- ファイルはE. 043にとられてジョブ終了と同時にきえるようになっていました。
- ファイル種別で順編成ファイルの場合PSとする。省略のとき分帯型順編成ファイルになります。

5 ¥QLINED

マクロ名	パラメータ
¥QLINED	出力ファイル名, 出力エレメント名 (, OLDFILE=(本文ファイル名(本文エレメント名)) (, AINFILE=(追加入力ファイル名(追加用入力エレメント名))) (, { OUTUNIT, OLDUNIT=装置機番 } { OUTVOLNO, OLDVOLNO }=ボリューム通番 AINUNIT } AINVOLNO

④注 装置機番、ボリューム通番の指定を省略すると、それぞれE. 040, E00040になります。

6 ¥QLISP

マクロ名	パラメータ
¥QLISP	FILENAME=ファイル名 (, UNIT= 装置機番) (, VOLNO=ボリューム通番)

④注 装置機番、ボリューム通番の指定を省略すると、E. 040, E00040になります。